

# 自治体における取組事例(共同受注窓口の運営) 愛知県

## 一般社団法人 愛知県セルプセンター

### ポイント

- 昭和58年に発足し、県から粗品の生産を受注し、共同生産したことが始まり。スーパーに常設店を出店するなど、幅広く事業を運営している。

### 幅広い事業運営

- 発足当初は官公需が中心であったが、現在はショッピングセンター、駅ナカのコンコースで開催する即売会や「福祉の店」の運営が主な事業となっている。
- 愛知県・名古屋市の官公庁や企業へ商品の紹介を行い、記念品、粗品等を販売している。

(参考) 平成26年度 愛知県内各自治体の  
障害者就労施設等からの調達実績額

- 愛知県 約727万円
- 愛知県内各市町村 約6億7,565万円

### 愛知県セルプセンターの概要

- 昭和58年に全国初の県単位のセルプセンターとして発足。県から共同受注窓口の認定を受けている。平成28年度には名古屋市からも認定を受ける予定。参加事業所数168か所。
- 会員事業所はパン、クッキー、木工品、工芸品、陶磁器、各種布製品、ポーチ等様々な製品を扱っている。また、縫製、クリーニング、印刷、部品加工、情報処理、農畜産業、花栽培等の作業、各種下請けの仕事なども幅広く行っている。
- 平成26年度売上高は約6,041万円、手数料約600万円。年会費303万円。自治体から補助を受けるとともに、会員から年会費、売上額から手数料等を徴収している。
- 会員事業所が生産した製品の物流や販売を担うため、同法人では平成28年4月から就労継続支援B型事業所を開所し、共同受注窓口の機能強化を図った。

問合せ先 (一社) 愛知県セルプセンター <http://www.aichi-selp.net/>  
電話 052-304-7890 FAX 052-304-7813